

平成24年7月22日（日）

森林アクティビティ講座（第1回）の開催

7月22日（日）、標茶町雷別国有林の自然再生事業地に、一般公募で集まった市民21名（一般10名、ボーイスカウト釧路第6団カブ隊の小学生11名）が参加して、第1回「森林アクティビティ講座」を実施しました。

今回の講座は、①「ハルニレの種子の採取とシードトラップの撤去」、②「植物の勉強会と外来植物駆除」、③「ミズナラの巨木見学」を実施しました。

ハルニレのタネ採取とシードトラップ撤去では、今年5月に雷別ドングリ倶楽部第1回活動でハルニレの木の下に設置したシードトラップから種子を採取することにしましたが、ハルニレの種子が不作年（？）なのか全く採取することができずに、シードトラップを撤去しました。

植物の勉強会と外来植物の駆除では、外来種の言葉由来や雷別にはどんな植物が生育しているのかを学んだあと、外来植物である「アラゲハンゴンソウ」の抜きとり作業を行い、午前の講座を終わりました。

午後からは、林野庁の「森の巨人たち百選」にも選ばれている標茶のミズナラの巨木を見学しました。



シードトラップの撤去作業



外来種（アラゲハンゴンソウ）の抜取作業